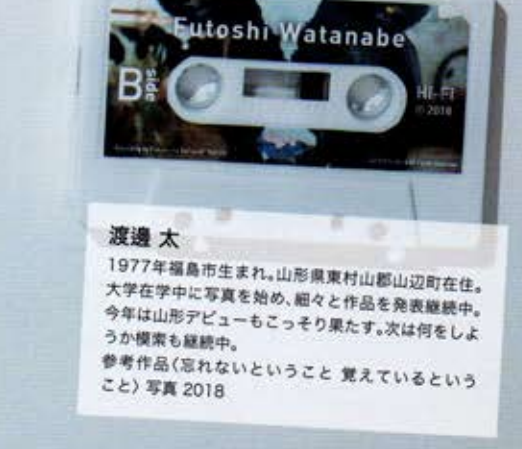
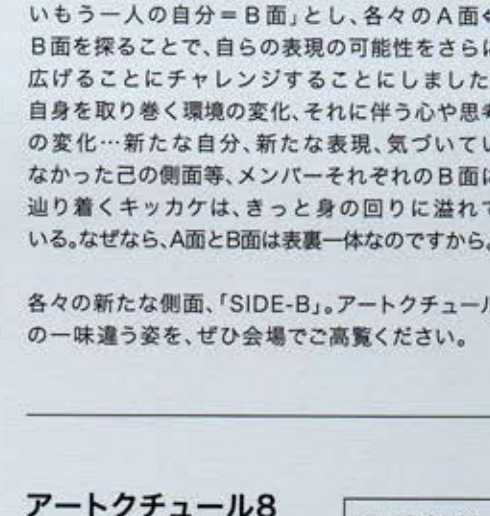
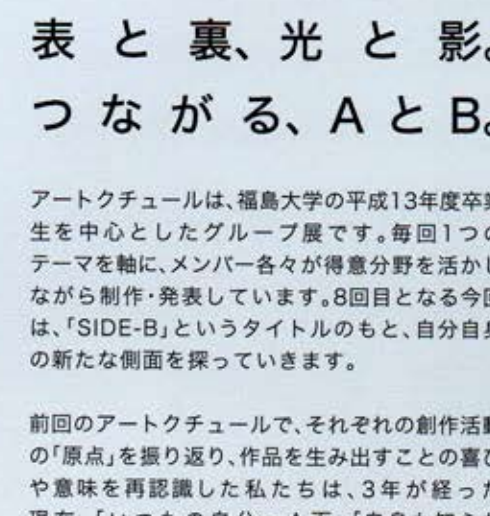




表と裏、光と影。 つながる、AとB。

アートクチールは、福島大学の平成13年度卒業生を中心としたグループ展です。毎回1つのテーマを軸に、メンバー各々が得意分野を活かしながら制作・発表しています。8回目となる今回は、「SIDE-B」というタイトルのもと、自分自身の新たな側面を探っていきます。

前回のアートクチールで、それぞれの創作活動の「原点」を振り返り、作品を生み出すことの喜びや意味を再認識した私たちは、3年経った現在、「いつもの自分＝A面」「自身も知らないもう一人の自分＝B面」とし、各々のA面やB面を探ることで、自らの表現の可能性をさらに広げることにチャレンジすることにしました。自身を取り巻く環境の変化、それに伴う心や思考の変化…新たな自分、新たな表現、気づいていなかった己の側面等、メンバーそれぞれのB面に辿り着くキッカケは、きっと身の回りに溢れている。なぜなら、A面とB面は表裏一体なのですから。

各々の新たな側面、「SIDE-B」。アートクチールの一味違う姿を、ぜひ会場でご高覧ください。

アートクチール8 SIDE-B

入場無料

場所：福島テルサ4F ギャラリー

期間：2018年9月21日(金)～24日(月・祝)

時間：21日 (14:00～19:00)

22・23日 (10:00～19:00)

24日 (10:00～17:00)



後援：福島市・福島市教育委員会
福島民報社・福島民友新聞社

安藤 純子

福島市在住。大学時代は美術教育学を専攻。3人の子どもの成長を感じる度に「長生きしたいな」と思う今日の頃。「つくるって楽しい！」の輪を広げるべく、日々模索中。
参考作品 (J) 鉛筆・コンテ 2018

遠藤 恵一

1978年生まれ。大学卒業は横浜市で教職に着き現在に至る。生徒指導と部活動指導に明け暮れる毎日だが、限られた制作時間の中に幸せを感じられる自分に安心する。最近の得意技は「肩車」と「口車」
参考作品 (凡事徹底) アクリル・ボールペン 2018

きじま 兵伍

ニッチ漫画家。複数の雑誌に不定期掲載。人体の魅力を永遠のテーマに、デジタル作業でも手描きのあたたかみを失わない表現を模索中。
参考作品 (ためんどんぶり・親子丼) インクジェットプリント FO 2018

小出 恭寛

1979年、北海道出身。大学時代は絵画を専攻。卒業後は広告制作会社での経験を活かし、グラフィックと絵画のクロスオーバーを実現。現在、映像作家としても活動を始め。東京都在住。
参考作品 (Prototype) 映像 2018

芳賀 大悟

1979年、福島に生まれる。芸術好きな両親のもと、幼少より美術と音楽の世界にどっぷり浸かった人生を送る一会社員。有機と無機、個と集合が独特な空間を生み出す。
参考作品 (stack (仮)) アクリル・インクジェットプリント 2018

芳賀 美奈子

山形県東田川郡米沢市生まれ。酒と桜をこよなく愛する純日本人。日本画の技法を学び、主に花をモチーフとした作品を制作する。作ること、表現すること、没頭することの楽しさを一人息子の姿勢から再認識させられる日々を送る。福島市在住。
参考作品 (Iwanaga) インクジェットプリント 2018

堀 悠

1979年、山形県生まれ。大学時代はデザインを専攻。卒業後は、障がいを持つ方の就労支援の仕事を専攻。現在は、2人の男の子を育てながら、切り絵や消しゴムはんこの販売・ワークショップを不定期で開催。仙台市在住。
参考作品 (お誕生おめでとう) 切り絵 2018

三浦 美香

1979年、秋田県生まれ。大学では彫刻を専攻し、卒業後は福島県教員となる。現在は福島市の特別支援学校に勤務。自分の3人の子どもの成長と可能性を見つけては楽しむ日々を送る。二本松市在住。
参考作品 (ひみつ) ケヤキ 2018

渡邊 太

1977年福島市生まれ。山形県東村山郡山辺町在住。大学在学中に写真を始め、細々と作品を発表継続中。今年は山形デビューもこっそり果たす。次は何をしようか模索も継続中。
参考作品 (忘れないうこと 覚えていうこと) 写真 2018